

磐城大衆新聞

毎月二回 一日、十五日發行
定額 一圓十錢
廣告 一行五十錢
發行所 磐城大衆新聞社
編輯部 長谷川兵衛
印刷部 三浦平次
印刷所 磐城大衆新聞社

噴火山上に彷徨ふ

石城民政部會の姿？

果して除名を甘受する乎

天地宇宙の原則として「満つ濟するの方策も手段も盡き果れば欠くる世の慣ひ」と古諺もたるが如き觀を呈せり。

現内閣を支持し天下の輿論の悲哀と幻滅の境に迫りつゝある民政黨が這般の總選挙に豫想の時、地方政界は復た醜き争闘外の大多数を得たる事は、果しを開始し、戦功の第一の争ひて國民の信望を荷ひたる結果か否か浮身をやつしつゝあるは何事亦た不自然なる多数黨を構成せり。

然るに、愛黨の精神燃ゆる彼の野崎滿藏氏は茲に代議十戰の出馬を断念して、前回双、相の天地より出馬して落選の悲運に遭せる氏家清氏を如何にしても今次の政戦には中央議政壇上に送らんと、悲壯なる決心の下に氏家氏の當選を期すべく全力を傾注して援助支持する事に決せり。

然るに、第三區よりは我黨天下の總選挙に二名の代議士を本部に送りしものと、則ち男性的な意氣の下に氏家氏を支持せるものなり。

然るに萩原氏一派は是れを反逆者則ち黨規を亂す不届者なりと稱し、磐陽の天地に到る處に反逆者某縣議を擧げ、最も中傷多の犠牲と努力せし闘士として吾人は克く熟知せるものである。

力なき現政府の政策の一端を石城民政黨は其の公認候補者を二名擁立して二ヶ所に其總會を倍加して洪水の如き失業者を救

加之、氏家氏は前回の雪辱戦評ある人物である党の功勞者と思考して此の一大侮辱的の決議を甘受するであらう乎、吾人然るに萩原君一派の支持せるは〇〇君等の身邊にも相當以上然るに萩原君一派の支持せるは〇〇君等の身邊にも相當以上然るに萩原君一派の支持せるは〇〇君等の身邊にも相當以上

聖人の如き高潔なる人格者我教育家であり、飽くまで謙讓の大和田豊吉先生を御紹介するの美徳を以て吾人の如き者にも城格が反映されるものと記者は信ず。

磐城佑賢學舎長

大和田豊吉先生

先生は頗る讀書家にして東西古今の書を涉獵する幾千卷たり書齋は恰も公立の圖書館を遙かに凌ぐ感あり。

大衆片々

- ▲幣原外交の拙劣は果して一九三六年後の〇〇地位如何とす。
- ▲濱口ライオン、公約を果する勇氣なく徒らに多数黨の悲哀を感ずるだらう。
- ▲特別議會には多数黨横暴の罵聲と野黨の無氣力の冷嘲とを以て充滿するならん。
- ▲何にが政黨政治の進歩だ、黨本位の政治は國民が眞平御免だ。
- ▲民政黨も最善の才智を練り合せ、折り合つて現下の世情に對する提案を進言するに非ずんば其信望は地に墜つるも
- ▲救濟事業の名に於て築港、鐵道等何でもよい働いて喰は
- ▲除名問題を中心にして其分裂も完了せんとす。
- ▲満月の欠けるも理の當然、去れど野人の集團も。
- ▲鳥笑ひ、花咲く、蝶が舞ふ春の四月も来た、平陽天地颯客で満員ならん乎。



人生の微笑は花の四月に平、花の名所松ヶ岡公園の櫻花も一句ならずして満開と、紅燈暗明の街に咲く不變なる春花も、春夏秋冬を通じて其の妍を競ふこそ春花なれ、平陽の春花を本欄に紹介せば仍て如件。

▲誰れか、ワタシは毒婦でも妖婦でもないのよ、一號より八號迄の援助者がある故に、神様に御信心が出来るのよ、補助金の最高は預〇をして横〇した〇さんが即ち第一號よ、と一体誰か此の美人藝者は？

▲〇家〇〇〇姐さん、近かき將來に實現するでせうか、又しても頭文字をつひ呼びさう

▲三〇屋の〇〇君第一の〇〇さんと今更らにね「切れました、別れましたちやもう今済まぬ世間に眼もある口もある」東路に御轉任にでも成つたら〇〇さんの男がすたりませうと。

▲橋家の照千代、或る旗亭で〇馬の〇を御宣傳、マサンも喜ぶでせうよ、奥様にすみませぬわ、と只云ふだけかへす氣もなく更ける宵「福運は遠いのですよ」

▲福清の秀奴、岡惚の變節家の〇〇さんはね、或る女性と、〇〇コンナ話をして居たつ、〇「千雨無盡が當つた夢が、さめて可笑しい春の宵」ですと御用心なさいよ、田町雀は噂をしてね。

に、貴郎と云へない新世帯」はね。

▲或る意味で頗る〇〇の齒大工〇さん、全身の戀と愛とを捧げまつりし谷口の政勇婆、ホトキヤの幹事長〇さんへ金釘流の葉書一通「日く別れて三日目もう此の通り、瘦せてゐますよ」書いて見ると。

▲品澤蝶々、御歸朝後は如何でせう、切に御自愛をね「傘が摺れ合ふ春雨小路、破れかぶれの戀もある」

▲山形家の小歌、二丁目〇〇さん、ね「どうせ浮名の春雨傘よ二人繪にならう唄にならう」

▲戦ひはね、最後にね。

▲谷口の喜多子、先夜は失禮しましたね、アレでね「夢ちや届いた心の糸がもつれて口惜しい明けの鐘」朝は〇時でせうか。

▲玉川の喜代治姐さん、イクラ木印ですつてね、名取りのマさん、にね「拾ひ手は貴郎許りと度胸をきめて、命の投げ出す四疊半」請負師丈にね、〇〇〇〇をね。

▲最近の出船入船の港を御照會せば、出船の部市太郎、才三は郡山行、若葉は〇さんと云ふ人を残して春の小名濱へ、若千代は〇〇より雲隠れと、小高は懐しい淺草は新檢に逆取りと。

▲入船の部は三島家のさい子飯坂温泉で龜の江より湖月の三勝花の御江戸は淺草澤の小さいね郡山より芳紀正に品甘一才、福清のおもちやは何代目鐵道大臣の〇子さんが昇格して一本と成つたとの由公園の花より以上に〇して、〇して頂戴など御宣傳以上

祝創刊一週年



和洋銅鐵金物問屋
釜屋商店
諸橋守次
諸橋元三郎
電話九番・一三九番

東部電力株式會社
平營業所長 **武田精一**
電話七番・一六二番

磐城建物株式會社
平町五丁目

第三區小學校長協議會

磐城片倉製絲株式會社
平町

日本石油株式會社特約店
油問屋清關内油店
關内正一
平町二丁目(電話十六番)

山崎合名會社
電話十番・二十七番

平藝妓屋組合

平町料理屋組合

材木商 **櫛田榮太郎**
電話二四八番

富國徵兵保險相互會社
平代理店
米穀商長 瀨富彌
平町材木町(電話三三三番)

改良洗張の元祖
萬洗張
小松崎洗張本店
平町二丁目裏通り(電話七七〇番)

平町四丁目(停車場通角)
マルトモ柴田書店
電話二三四番・九〇五番

萬洗張の御用は：町嚙親切の
平町、仲田町
小松崎洗張支店へ

平町月見町
古川兼松

平町材木町
菓子問屋大鶴屋商店
金成千十郎
電話七〇二番

平町三丁目
大谷時計病院
電話一九番

眼鏡

無料 検眼 TOKIWAYA

矯正度示・整調時即・嚙切親・價廉品良・富豊品良
視斜・視遠・視亂・視老・視近……位本様客お
任擔師醫科眼門專 たしまし致始開眼檢料無
……いさ下用利御券眼檢料無……

常盤屋時計店
眼鏡部
平町 電話三三九

藤市
平町二丁目
電話三〇五番

平松ケ岡
カフエ
賣店へ